

柳營日次記

貞享元^{甲子}年

七月御用番

大久保加賀守稻葉石見守坂本内記内

藤出羽守北條安房守彦坂伯耆守宮城

主殿松平孫大夫

朔日

月次之御札有之

御座之間

京都帰り

右御目見

^{獻物欠}

大緒五筋

参府

銀五枚

御暇

南部大膳大夫在所之初銚献上之

二日

評定所増寄合豊後守出座

（金三枚
時服三

同

右は為御褒美被下之

同

右同断^ニ付被下之

銀十枚^ツ

右同断

時ふく^ニ

右御暇^ニ付被下之

三日

四日

式日寄合山城守出座

牧野備後守忌 御免登城

一 盆之為 御名代松平将監日光^江可被遣

旨被 仰渡之

土方伊賀守兄土方刑部當地へ被召寄御詮義之内松平遠

江守へ御預

五日

^{紀伊殿家老}

水野土佐守

右は金五万兩拝借被 仰付候旨被為

召老中傳之

一^{四日也} 土方伊賀守兄刑部在所^ニ有之候処被為

召御詮儀之内松平遠江守^江御預之旨昨日

於評定所被仰渡候

八丈御代官竹内三郎兵衛御仕置之御條目渡^ル

六日

如例年御一門方^ハ七夕為御祝儀鯖代

使者^ヲ以被献之

金老枚^{ツツ}

尾張殿

紀伊殿

水戸殿

甲府殿

松平加賀守

松平左京大夫

松平撰津守

松平出雲守

松平越前守

松平讃岐守

松平出羽守

松平安藝守

松平大和守

松平中務大輔

松平飛騨守

松平大藏大輔

松平若狹守

松平伊豫守

時服三

（純子五卷 帰国^ニ付以
一種一荷使者

藤堂和泉守

伊達遠江守

七日

七夕御祝儀如例年

御刀 齋藤飛騨守

八日

上野^江 御名代

^{日光} 御名代

右御暇被下之

戸田山城守
松平右近将監

九日

昨夜甚雷^ニ付 御機嫌同老中御側衆

登城

十日

御座之間

大坂御城代^江

土屋相模守

式万石御加増都合六万五千石被成

右之通被 仰付之

禁裏^江初銚被進之

時ふく^ニ御暇

右之通被下之

八朔御進献之御馬 添罷登諏訪部文九郎支配岡田甚五兵衛へ

銀五枚被下

去頃京都火事之節公家衆其外へ類火之輩へ金銀

被下之付飛脚

銀三十五貫め内十五貫め林丘寺宮式十貫め岡部土佐守

銀五百十枚之内

百五十枚 圓照寺宮

式百枚 御画局

三十枚^ツ 芝山三位 梅小路民部少輔 大宮中将

風早侍從

十枚^ツ 禁裏非藏人 春宮同断 本院料理人
羽藏出羽介 世繼主計 野村市兵衛 藤本藤右衛門

金貳千四百九十五兩
内 貳百兩ッ
百五十兩ッ
百三十兩ッ
貳百ッ
芝山中納言
梅小路中納言
風早宰相
清水谷宰相
大宮中將 河尻宮内大輔 國池中將 長谷兵部權大輔
河野彈正少弼 櫻井刑部權少輔 堤右衛門權佐 市橋秀才 五条秀才
禁裏非藏人 春宮北面
羽合伯耆介 河端右衛門太夫
鴨脚河内介 中宮北面
藤野井下野介 松波左衛門尉
春宮北面 世繼甲斐守
佐野修理大夫
久留嶋出雲守 与力三人ッヘ
岡部土佐守
山口伊豆守 与力式人
佐野同心五人 山口同心五人
久留嶋同心九人
岡部同心六人

十一日

織田山城守娘
秋月式部江
松平長門守姉
内藤紀伊守江
酒井河内守娘
加藤遠江守江
酒井靱負佐娘
毛利元丸江
京極備中守娘
溝口帶刀江
秋月佐渡守娘
最上右京江
小出大隅守娘
坂本小左衛門江
鳥居左京亮娘
春日金右衛門江
遠藤右衛門佐姉
石川惣八郎江
伊東信濃守娘
大嶋雲八郎江
酒井老岐守娘
堀主税江
本多備前守娘
木下縫殿江

大岡備前守娘
服部權大夫江
神尾若狭守娘
松平頼母江
堀伊賀守娘
溝口源右衛門江
岡部伯耆守娘
嶋田八郎左衛門江
能勢惣十郎娘
五味金右衛門江
間宮忠左衛門娘
戸田七之助江
服部庄三郎娘
小笠原源四郎江
向井兵庫娘
有馬七郎江
佐野与八郎娘
林藤五郎江
宮崎甚右衛門
内藤八左衛門江
右之通縁組被 仰付之
孫太郎弟
加藤内匠
右は新規千俵被下之
兼松弥五左衛門
興津左衛門
西尾十右衛門
右は三百俵ッ被下御番入被 仰付之
元御細工奉行
梶山嘉左衛門
右七拾俵五人扶持被下之
保生新九郎
同 権九郎
右は配當米御扶持方被下之
日記役
坂実庵
大膳亮好庵
辻春達

右御四季施被下之
御暇
十兩ッ
御喇師 木屋常圓
鞘師 松田權兵衛
金具師 田村作右衛門

十二日

式日評定所寄合豊後守出座

火酒

右之通被 仰付之

時ふく十 祝言相済
候付

同六 同

同四 同

同三 同

根矢百勝 參勤
銀馬代

時ふく四 御暇

時ふく三 同

銀馬代 養子成之
御札

金十枚 長崎へ
時ふく二 御暇

羽折

春宮へ初鮭御進獻

跡目被 仰付候面々

伊勢守子

上杉主水

山下勘右衛門

高木貞右衛門

同 権左衛門

齋藤百助

大久保大膳

井上主膳

太田原頼母

石丸十兵衛

同 源左衛門

松平伊豫守

本多中務大輔

溝口信濃守

松平駿河守

朽木伊豫守

松平筑後守

松平志摩守

松平直次郎

川口源左衛門

船越左門

七百石内
五百石
貳百石

千五百石内
千貳百石
三百石

御小督組石川市正組
御使番
忠右衛門子
小普請松内藏光組
忠右衛門次男

御使番
信濃守子
山下勘右衛門
高木貞右衛門
同 権左衛門
齋藤百助
大久保大膳
井上主膳
太田原頼母
石丸十兵衛
同 源左衛門

火酒

頼母養子

寄合

主膳子

左兵衛子

那須

集人養子

清水御舟手
五左衛門子
五左衛門次男

一 先頃永井万之丞^江御預之囃子四郎兵衛事御尋之儀も無之間土方伊賀守^江返^シ可遣旨被 仰渡候

鳥山牛之助越後高田領之内御代官被仰付

十七日

紅葉山 御名代

欠 日光御目代

右之通被 仰付候

甲斐庄三郎右衛門^弟四郎右衛門

右は氣色不勝^二付弟四郎右衛門養子^二被 仰付候

十八日

御座之間

御朱印改
土屋相模守跡

右之通被 仰付之

桐之間番^江

西丸小十八頭
石原六郎左衛門
同山里番頭
山木平三郎
御勘定組頭
神保甚五左衛門

右之通被 仰付候

(一) 額三十疋 掃国 付以
(二) 一種一荷 使者差上之

有馬中務大輔

十九日

寄合

三百俵隠居料

五千四百五十石

五千石

四百五十石

隠居料

貳千石

四千石

二千百石内

千五百石

六百石

近藤彦九郎
同 隼人
桑山下野守
同 猪兵衛
中根平十郎
同 長右衛門
植村五郎八
同 熊之助
同 養子
同 五平次
小笠原佐渡守組
元山田奉行
瀧川長門守組
元荒井奉行
牧野伊豫守組
内藤出羽守組

米倉助右衛門
同 六郎右衛門

山田太郎右衛門
同 平三郎

六百石

六百石

千石

貳百五十石

貳百五十石

貳百五十石

今井刑部左衛門
同 新右衛門
矢部四郎兵衛
同 平左衛門
井上玄快
同 傳庵
相原善兵衛
同 庄二兵衛
遠山将監
同 五左衛門

貳百俵

四百五十石

三百俵

百俵^五十人扶持

御留守居支配

駿河田中城^江所替

日光掃り

右之通被 仰付候

右之通隱居家督被仰付候

右 御目見

(時ふく二) 御暇
(羽折) 内藤源藏支配
富士見番へ 五十嵐六之助
彦坂組 勝 助九郎

出羽御代官

諸星庄兵衛

松平右近将監

上野御佛殿 御名代阿部豊後守

廿日

廿一日

時ふく二 御暇
(二種一荷) 無燭五百挺

有馬中務大輔使者
奥平美作守使者
桑名兵部

堀田源兵衛

桑名兵部

右は入部^二付差上之

時ふく二 御暇

長谷川市兵衛

土方伊賀守家来安部長藏子淺右衛門辰之助小出備前守方^江引取可申由被仰付之

松平加賀守国元へ御尋奉書

廿二日

端午之御内書被下物如例年

小出備前守土方市正被為 召土方伊賀守評定所^江可罷出旨被 仰付候評定所^二而

今日式日山城守出座

申渡覺

武州岩槻城主

土方伊賀守

右伊賀儀家中仕置不宣此度騒動仕不調法之仕形不屈^二被 思召依之領地尅

万八千石被 召放榊原席之助へ御預被成候もの也

伊賀甥

土方内匠

右内匠儀川合圖書阿倍長藏 致一味

段々不屈之仕形 付八丈嶋 流罪被 仰付

もの也

同人弟

林 助之進

右助進儀土方伊賀為を存之旨申立候へ

共畢竟自分之儀を存之段不屈之仕方^二付

藤堂佐渡守^江御預被成もの也

於溝口信濃守宅 檢使林信濃守大澤

左京

川合圖書

阿倍長藏

右兩人儀伊賀為をわすれ其上徒黨を結家中騒動致させ重々不屈^二付切腹被 仰付もの也

(二) 二から日次記に記載あり

長藏惣領

阿倍淺右衛門

次男

同 辰之助^九

右父長藏不屈^二付兩人共切腹被 仰付もの也

(二) 二から日次記に記載あり

渡於評定所^二

申渡

有馬伊豫^江

此度土方伊賀家中出入^二付^而林助之進

其方宅へ相越候処早速不取上申募及詮

議候伊賀家中之儀^二候得は諸事可^{（日本記は可懸相談少）}逐相

談候処^二不能其儀親類縁者之好身不存

仕方不屈被思召候依之領知被召上有馬中

務大輔^江御預^ケ被 仰付候

右は坂本内記本多淡路守秋山修理亮

北条安藝守宮城主殿秋田平大夫列

座申渡之

伊与守^子

有馬采女

右同人^江御預被 仰付候

柳宮日並記

貞享元^甲子年

八月御用番

阿部豊後守秋元撰津守本多淡路守秋

浦内藏允甲斐庄飛驒守大岡備前守

朔日

辰后刻御黒書院^江出御甲府宰相殿

御札相濟御白書院^江出御

御刀 永井相模守

尾黄門名代使者渡辺半藏獸物御札松平左兵衛督

ハ近江守御札

大廣間 松平左京大夫始諸御札因持外様如例次外様之

高家金殿院短足院御札其外御次一門

紀伊黄門殿
水戸宰相殿
尾張中將殿
紀伊中將殿
水戸少将殿

右御札其外如例年八朔之御觀式御札相

濟

御札以後出仕之面々可相揃旨被 仰渡堀田

筑前守老中列座御書付林春常讀

之

今度土方伊賀家中仕置悪敷^二付^而領地被召

上夫^二付有馬伊豫守儀今度土方伊賀家中

出入^二付^而林助之進伊豫守宅^江相越候処早

速不取上之候之故申募及僉議候伊賀家

中之儀^二候得は諸事可懸相談之處親類縁

者之好身を不存仕方不屈被 思召依之

領知被 召放有馬中務大輔^江御預被 仰

付候もの也

二日

禁裏へ宿繼^ヲ以初菱喰被進之

是松平陸奥守献上也

銀三枚

同老枚

大久保甚兵衛組

与力^江

同心^江

右は駿府々藤岡正水と申徒者を御當地^江
召連参候^二付被下之

三日

（土方伊賀守下屋敷
被下）

（阿部伊与守下屋敷
被下）

（有馬伊豫屋敷
被下）
（官給土佐藩御用金）

（板倉市正屋敷
被下）

右之通屋敷被下之

二種一荷^{ツツ}

小笠原連江守使者
平井平兵衛
松平豊前守使者
市川弥五左衛門

四日

式日 大久保
加賀守出座 十万石

右は被為 召肥後守跡式無相違被下置候

旨老中列座筑前守申渡之

一 式日加賀守出座

五日

高藏院様御祥月^二付上野^江

御名代

大久保加賀守

六日

御黒書院^江出御

箱肴

参府

酒井河内守
松平因幡守
松平備前守

那須遠江守

松平修理亮

三浦壹岐守

右何も詰衆

同

同

御臺様へ五枚女中有差

（時ふく十
金馬代）

（銀馬代）

参勤

土井周防守
岡部美濃守

酒井右京亮
屋代越中守
山口修理亮
渡辺半次郎
高木大學

右は煩^二付頼母儀養子^二被^レ 仰付之

十六日
松平陸奥守領国之初鶴獻之
禁裏^江初竊被進之^{是^ハ今朝松平陸奥守^ノ差上^ニ候^ニ依^テ之}

十七日

紅葉山^江 御名代

日光御目代

戸田山城守
岩瀬吉左衛門

十八日
大御番^{小^ハ江^ノ組御腰物奉行御納戸^ノ}
新御番^御入人被^レ 仰付候面々

大御番

岡部隠岐守組

小林藤左衛門

佐野九右衛門

竹内平右衛門

柘植傳右衛門

日下半左衛門

三浦庄大夫

山田九兵衛

山角又兵衛

石野平藏

森川七大夫

水野彦五郎

中嶋傳五郎

岩佐源五左衛門

西山三左衛門

貴志武兵衛

佐橋甚右衛門

中山又四郎

大谷半右衛門

赤井平右衛門

小宮十郎兵衛

牧野助三郎

曲渚市兵衛

長田十右衛門

大澤十兵衛

國領七郎右衛門

柴山甚太郎

横地十郎兵衛

寛 小左衛門

本間十太夫

清水平八郎

永井三郎右衛門

川奈半左衛門

小長谷傳右衛門

野口喜左衛門

海野六左衛門

原田甚五兵衛

杵浦五郎左衛門

田辺宇大夫

本間孫右衛門

布施六右衛門

宛新五左衛門

太田半左衛門

藤方甚五右衛門

内藤甚右衛門

澤 甚左衛門

森川源兵衛

嶋田角左衛門

逸見半七郎

井関藤五郎

長尾七兵衛

銀十枚ツツ 御暇

國友兵四郎

同 甚左衛門

松平權紙松平下總守丹羽若狹守ノ獻獻之^一

本院御所新院御所春宮^江初竊被

進之

松平長門守国元^ノ使者二種一荷獻之去頃内藤紀伊守へ長門

守姉縁組被^レ 仰付御礼

御廣敷番之頭

加藤保左衛門跡

御草司奉行

土屋次郎左衛門跡

同組頭

櫻井藤兵衛跡

御廣敷番

御徒目付

西 文右衛門

表火之番

奥火番

野呂治兵衛

石黒新右衛門

梶田金兵衛

成瀬喜右衛門

本多中務大輔

日光御門跡^江

御使稲垣安藝守

中山勘兵衛

諏訪部喜右衛門

右は奥州御馬買御用^二可被遣候旨

右被遣之

御菓子

右之通被^レ 仰付之

二種一荷

使者^二付^レ以

右之通被^レ 仰付之

御廣敷番

御徒目付

西 文右衛門

表火之番

奥火番

野呂治兵衛

廿一日

朝岡伊与守上屋敷

被下

品川采女屋敷

被下

品川采女屋敷

被下

品川采女屋敷

被下

廿一日

朝岡伊与守上屋敷

被下

品川采女屋敷

被下

品川采女屋敷

被下

品川采女屋敷

被下

國友兵四郎

同 甚左衛門

松平長門守国元^ノ使者二種一荷獻之去頃内藤紀伊守へ長門

守姉縁組被^レ 仰付御礼

御廣敷番之頭

加藤保左衛門跡

御草司奉行

土屋次郎左衛門跡

同組頭

櫻井藤兵衛跡

御廣敷番

御徒目付

西 文右衛門

表火之番

奥火番

野呂治兵衛

石黒新右衛門

梶田金兵衛

成瀬喜右衛門

本多中務大輔

日光御門跡^江

御使稲垣安藝守

中山勘兵衛

諏訪部喜右衛門

右は奥州御馬買御用^二可被遣候旨

右被遣之

御菓子

右之通被^レ 仰付之

二種一荷

使者^二付^レ以

右之通被^レ 仰付之

御廣敷番

御徒目付

西 文右衛門

表火之番

奥火番

野呂治兵衛

石黒新右衛門

梶田金兵衛

成瀬喜右衛門

本多中務大輔

日光御門跡^江

御使稲垣安藝守

中山勘兵衛

諏訪部喜右衛門

右は奥州御馬買御用^二可被遣候旨

右被遣之

御菓子

右之通被^レ 仰付之

御廣敷番

御徒目付

西 文右衛門

表火之番

奥火番

野呂治兵衛

石黒新右衛門

梶田金兵衛

成瀬喜右衛門

本多中務大輔

日光御門跡^江

御使稲垣安藝守

中山勘兵衛

諏訪部喜右衛門

右は奥州御馬買御用^二可被遣候旨

右被遣之

御菓子

右之通被^レ 仰付之

御廣敷番

御徒目付

西 文右衛門

表火之番

奥火番

野呂治兵衛

石黒新右衛門

梶田金兵衛

成瀬喜右衛門

本多中務大輔

日光御門跡^江

御使稲垣安藝守

中山勘兵衛

諏訪部喜右衛門

右は奥州御馬買御用^二可被遣候旨

右被遣之

御菓子

右之通被^レ 仰付之

御廣敷番

御徒目付

西 文右衛門

表火之番

奥火番

野呂治兵衛

石黒新右衛門

梶田金兵衛

成瀬喜右衛門

本多中務大輔

日光御門跡^江

御使稲垣安藝守

中山勘兵衛

諏訪部喜右衛門

右は奥州御馬買御用^二可被遣候旨

右被遣之

御菓子

右之通被^レ 仰付之

御廣敷番

御徒目付

西 文右衛門

表火之番

奥火番

野呂治兵衛

石黒新右衛門

梶田金兵衛

成瀬喜右衛門

本多中務大輔

日光御門跡^江

御使稲垣安藝守

中山勘兵衛

諏訪部喜右衛門

右は奥州御馬買御用^二可被遣候旨

右被遣之

御菓子

右之通被^レ 仰付之

御廣敷番

御徒目付

西 文右衛門

表火之番

奥火番

野呂治兵衛

石黒新右衛門

梶田金兵衛

成瀬喜右衛門

本多中務大輔

日光御門跡^江

御使稲垣安藝守

中山勘兵衛

諏訪部喜右衛門

右は奥州御馬買御用^二可被遣候旨

右被遣之

御菓子

右之通被^レ 仰付之

御廣敷番

御徒目付

西 文右衛門

表火之番

奥火番

野呂治兵衛

石黒新右衛門

梶田金兵衛

成瀬喜右衛門

本多中務大輔

日光御門跡^江

御使稲垣安藝守

中山勘兵衛

諏訪部喜右衛門

右は奥州御馬買御用^二可被遣候旨

右被遣之

御菓子

右之通被^レ 仰付之

御廣敷番

御徒目付

西 文右衛門

表火之番

奥火番

野呂治兵衛

石黒新右衛門

梶田金兵衛

成瀬喜右衛門

本多中務大輔

日光御門跡^江

御使稲垣安藝守

中山勘兵衛

諏訪部喜右衛門

右は奥州御馬買御用^二可被遣候旨

右被遣之

御菓子

右之通被^レ 仰付之

御廣敷番

御徒目付

西 文右衛門

表火之番

奥火番

野呂治兵衛

石黒新右衛門

梶田金兵衛

成瀬喜右衛門

本多中務大輔

日光御門跡^江

御使稲垣安藝守

中山勘兵衛

諏訪部喜右衛門

右は奥州御馬買御用^二可被遣候旨

右被遣之

御菓子

右之通被^レ 仰付之

御廣敷番

御切手番之頭
安藤四郎左衛門

右願之通御役御免之旨

馬場安清
同 友庵

右向後三丸御用可承旨被仰渡之
永井日向守宅へ老中招請 家督祝儀也

廿二日

式日寄合山城守出座
(時ふく三 御暇)
新納五郎右衛門

廿三日

板倉越中守一昨日死去也

廿四日

増上寺^江 御名代 戸田山城守

廿五日

午刻三丸へ渡御

廿六日

御座之間
領地之御書出
御手自被下
土屋相模守

右頂戴之
大御番組頭
安藤丹波守組
市川瀬兵衛

右之通被 仰付候
御針医師
坂 立雪
山本友仙

右向後奥方^井三丸大奥御用可承旨被

仰渡之

廿七日

太田備中守

右は領地之御書出被下之

御城内へ雨天之節小者中間雨合羽為着候儀如前々不苦旨

殿中祇候之面々へ大目付相傳之

廿八日

今朝辰ノ下刻於 大料理之間稲葉石見
守儀致乱心堀田筑前守^ヲ討之候石見守事

は即時^ニ大久保加賀守戸田山城守阿部豊
後守馳来^リ石見守^ヲ切殺^シ畢 殿中大周

章^ハ筑前守深手故宅へ退突疵深手^ニ而存
命難斗依之 御目見無之旨出仕之面々

謁老中

上使大久保佐渡守
堀田筑前守
右為 御尋被遣之
稲葉石見守屋敷永井日向守^江當分御預

被成候

筑前守養生不相叶暫時有之卒去之儀達 上聞 上使稲垣安藝守
被遣之右^ニ付所々惣飛脚

廿九日

堀田筑前守昨夜四時死去依昨日^ノ三日遠
慮為伺 御機嫌御三人方甲府殿諸大名諸

番頭諸物頭諸役人登城
上使戸田山城守
堀田下総守
右は為御香奠被遣之
銀三百枚

土方伊賀守有馬伊豫守儀^ニ付遠慮之面

々不殘 御免
稲葉石見守昨日之儀^ニ付又從弟迄遠慮

被 仰付之

柳營日次記

貞享元^甲年
九月御用番

戸田山城守秋元撰津守坂本内記彦坂老
岐守北條安房守中山隱岐守秋田平大夫

平野九左衛門

朔日

月次之御札有之
(縮式百把 金馬代)

三束式巻

一東一本
時ふく五

一東一卷
一東一卷

銀三十拾枚
時ふく三
羽折

箱者
御目見
岩槻御目付掃り

御目見
佐州^ノ
參府

御預被仰渡之
召上縁者近藤三左衛門^江

二日

三日

重陽之時服如例年上^ル御小姓数四百廿
上使喜多見若狹守
日光御門跡
御使目付

御伽羅一本
銀十枚

右は小出伊勢守^江御預之天野牛之介死去
為檢使被遣之

今度 東宮御所御作事^ニ付物書料被

下之面々

金百兩^ツ

金四拾五兩^ツ

中坊長兵衛
日向傳右衛門

坂部三左衛門

望月忠左衛門

尾嶋友右衛門

右之通被下之

岡野平左衛門支配

次男

松平老岐守

右は松平相模守於国元煩大切^ニ付願

之通彼地^江御暇被下之

稲葉石見守八町堀之屋敷當分松平和泉

守へ御預被成之

松平相模守国元^ニ病^ニ付次男老岐守為看病遣度旨惣領伯

耆守願之通被仰付

四日

式日評定所豊後守出座

竹田法眼

右は日光御門跡近々御登山^ニ付御供可仕

旨被仰渡之

五日

（銀三十枚
時ふく三^ツ

御暇

小池坊權僧正

光明寺

圓福寺

尊勝院

松梅院

皓臺寺

常高寺

右之通被下之

若州

長崎

北野

栗田口

同五

同三

同ツ

六日

巳后刻御黒書院 出御

時ふく四 娘婚姻

同 同

松平播磨守

水谷左京亮

名代水谷出羽守

九日

辰后刻 御表^江出御如例年重陽之御祝

儀如例相濟

黒書院 甲府殿次同家司戸田伊勢守渡辺長門守拝謁

白書院 紀黃門水宰相尾紀中將水將殿次掃部頭肥後守

松平左兵衛督松平近江守次山王別當神主御札卷數

献上拝謁

大廣間 松平左京大夫始諸侯外様高家一同金地院知足

院畢^兩御次一同

鞍一口 井岡次郎左衛門

十日

御座之間

島山飛驒守

三浦老岐守

永見治部左衛門

時ふく三

右御暇被下之

松平出雲守息万次郎今朝死去

十一日

御小性組番頭
仙石右近

右は組中御引渡有之

加藤兵助淀川御普請奉行大坂^ニ罷在候処

御用^ニ付罷出^ル

十二日

評定所^江加賀守出座

大坂在番帰り大御番遠山主殿頭米津周防

守両組御改有之

右到着^ニ付被遣之

御小納戸
飯田十右衛門

以下欠

右は小普請入被 仰付候

銀十枚 岡 又兵衛

同三枚 同心式人

御刀

喜多見 若狹守

細川豊前守
堀 飛驒守
土岐伊豫守

永井伊賀守

永見治部右衛門

遠山主殿頭

米津周防守

両組頭八人

組 中

加藤半之助

日光御門跡^江

島山下總守

三浦老岐守

寄合

仙石右近

瀧川長門守組

甲斐庄三郎右衛門跡

御徒頭

御小性組番頭

大久保豊前守跡

御免 春宮^江被為附

花山院右大将傳奏 御免

御祐筆分限帳へ

齋藤喜兵衛

奥詰へ

加茂宮喜右衛門

御先立

御佛殿 御参詣

御先立

井伊掃部頭

御刀

喜多見若狹守

御吝

長山弥三郎

御供

秋元但馬守

日光へ

御暇

松平兵部大輔使者

永見治部左衛門

三浦老岐守

島山飛驒守

御座之間

時ふく三

右御暇被下之

松平出雲守息万次郎今朝死去

十一日

御小性組番頭

仙石右近

右は組中御引渡有之

加藤兵助淀川御普請奉行大坂^ニ罷在候処

御用^ニ付罷出^ル

十二日

評定所^江加賀守出座

大坂在番帰り大御番遠山主殿頭米津周防

守両組御改有之

右到着^ニ付被遣之

御小納戸

飯田十右衛門

稲葉丹後守家来
木村弥五兵衛
市川傳藏

右は去^ル十日女中常盤井下向^ニ付京都^都^ノ

附参候^ニ付被下之

銀式枚ツツ
三人
同人足輕

金五拾老阿道中入用中間三人^ハ金一両ツツ

右於大久保加賀守宅与力家来頂戴之

今晚於 御座之間御能有之

十三日
時ふく三
羽折
同四
尾張殿使者
瀧川又左衛門
阿部縫殿

去月廿八日
奉中々之儀旨之付
被差上候者御暇
堀田某等^ハ至去付使
御暇

十四日

清楊院様七回御忌 付甲府殿^ノ傳通院

法事被行 付以阿部豊後守御香奠銀式

百枚被遣之

右御礼甲府殿^ノ渡辺長門守被差上之右

同断付 御臺様^ノ銀三拾枚 桂昌院様

^ノ銀拾枚被遣之

松平佐渡守願之通湯治御暇被下

十五日

月次之御礼

参勤
丹羽若狭守

銀式百枚
緋式百把
昆布五箱
銀馬代
一東一卷
輪番代り参上
同行人方
八幡山
御礼
島目
時ふく三
同式

思書院甲府殿
紀萬門尾紀中侍
水少掃部頭
肥後^ノ下總守
御礼

松前兵庫

金剛三昧院

三生院

紀左近

角倉与市

天徳院

来迎院

崇源院様御忌月^ニ付増上寺^江大久保加賀

守被遣之

松平佐渡守願之通湯治御暇被下今朝
発足也

十六日

金三枚
時服二ツツ

中山勘兵衛
諏訪部喜右衛門

右は奥州御馬買^ニ付御暇被下之

禁裏^江御鷹蠶以宿継被遣之

駿河加番

欠

本多伊豫守
岡田将監
松平勘助

右奉書相渡之

十七日

辰后刻紅葉山^社御参 御長袴

御先立
井伊掃部頭
堀 小四郎

欠

右之通被 仰付候

奥御郡下番

欠

右之通被 仰付之

十八日

昨十七日光御祭礼天氣能相濟段注進有之

十九日

廿日

辰后刻紅葉山^江御参詣

御先立

井伊掃部頭

島山飛騨守

三浦老岐守

日光

御名代婦り

同

御祭礼奉行婦り

右御目見

廿一日
甲府殿^ノ御口切御茶御有一種被差上之

廿二日

式日評定所豊後守出座

本院春宮 御所^江以宿継御鷹之蠶被

遣之

廿三日

上使大久保加賀守
紀伊殿^江

右は姫君様来十二月中御入奥之儀被 仰

遣之依之為御礼紀伊殿御登 城

時ふく二ツツ

八幡神主
紀左近

奉木大夫
山本大夫

八幡使者

豊藏坊使者

青山帛之助

御廊下版
後藤清右衛門

伊藤甚右衛門

小林半助

鈴木善大夫

古田久兵衛

山本市郎兵衛

吉田清大夫

右不殘貳百俵^ニ被成下候

甲府殿家来鈴木四郎左衛門老衰^ニ付隠居同氏四郎三郎讓与候儀甲

府殿伺之通被 仰出旨家司へ達之

廿四日

保科肥後守

右は被為 召今日初 紅葉山御先立被

仰付候

辰后刻紅葉山^江御参詣 御長袴

御先立

保科肥後守

御先立

御先立

御先立

上使島山民部大輔
日光御門跡^江

右御到着^ニ付被遣之

廿五日

卯后刻二丸へ被為 入御能有之

桂昌院様^ニも被為 入候

欠

東方朔 七大夫 新之丞^(三太郎 又次郎 新右衛門 六郎右衛門)

忠慶 金剛大夫 彦太郎^(次郎右衛門 甚五兵衛)

誓願寺 保生大夫 権七^(新九郎 一郎兵衛 彦九郎 庄兵衛)

張良 七大夫 彦太郎^(九郎次郎 弥右衛門 庄兵衛)

龍田 觀世 新之丞^(三太郎 又次郎 新右衛門 甚兵衛)

口まね 長大夫 ともり 佐右衛門

鏡男 市郎兵衛

外^ニ黒塚 美濃守 鶴 相模守

是界 橋弁慶 狸々

廿六日

廿七日

新院 御所^江 御鷹之鶴被遣之

廿八日

月次之御礼 白書院知例

時ふく五^(羽折)

同 御暇

時ふく二^(同 四) 祝言相済候^ニ付

同 大隅守在所^ニ付^四

大坂御目付帰り

高田御目付帰り

火縄 参上

銀馬代 山田^ノ参府

役所帰謁

一東一卷 峯入帰り

右は當月御祈禱被遣之

金三枚 時ふく二^(羽折 フツ)

右は西丸御普請出来^ニ付御褒美被下之

午刻三丸^江 渡御

廿九日

四万八千石 尼崎城地も先御預之旨

右は大膳亮跡式無相違被下之旨老中列座

申渡之

御裏御門番之頭 安藤四郎左衛門跡

御室番奉行 小林平助跡

右之通被 仰付候

御鷹之鶴

右之通被遣之

右為御禮御登 城

右は閉門 御免

柳沢弥三郎西久保 上屋敷被下之

右之通屋敷被下之

時ふく貳 御暇

角倉与市

御使吉良上野介
日光御門跡^江

神谷長五郎

梶 四郎兵衛

一

一

端孫 青山播磨守

一

一

一

大御番遠山主殿頭組 宇都野作右衛門

小十人頭小田切善兵衛組 小笠原金兵衛

上使阿部志摩守 紀伊殿

同秋元集人正 水戸殿

同阿部志摩守 甲府殿

武田越前守

林 信濃守

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

柳營日次記

貞享元^甲 年

十月御用番

大久保加賀守 堀田對馬守

柴田和泉守 甲斐庄飛騨守

戸田又兵衛 小倉半右衛門

朔日

月次之御礼有之

箱肴

走水ノ参府

走水奉行

二日

二日

二日

二日

二日

二日

二日

二日

二日

二日

二日

二日

二日

二日

二日

二日

二日

二日

二日

二日

二日

二日

二日

二日

二日

二日

去月廿九日大御番岡部隠岐守組児島源藏大岡治左衛門事
源藏伊左衛門宅^江押込切殺立退候処^ヲ伊左衛門弟小十人忠
兵衛出合源藏^ニも深手負せ其身も死去源藏事も宿^江歸り
相果申候然處源藏書置當分は無之候^ニ其以後出候故右
之通吉兵衛御預也

五日

六日

七日

今晚玄緒御祝儀如例年相済
松平大隅守國元^ニ有之息死去

御祝儀三方載之中山内記
小十人番頭頂戴畢而入御
(日記記は小十人番頭也)

八日

上野 御名代

九日

稲葉石見守親類遠慮不殘 御免
武田越前守閉門 御免以後初^ニ而登 城也

十日

西丸 御殿不殘出来安鎮御祈祷有之知足院執行之坂本内
記中根主税被遣之

西丸寄合 御本丸之寄合^ニ被 仰付之

右牧野備後守宅^ニ而 申渡之

西丸衆御番人
御小性組

室賀甚四郎
秋浦兵九郎
前田新八郎
内藤十兵衛
柘植五大夫
川勝權之助

右之通被 仰付候

右は田中城引渡被 仰之
(日記記は仰付之)

關東御代官
真瀬吉大夫跡
奥御右筆江

右之通被 仰付之

高拾二万石

内 拾万石余

貳万石分知

老万石分知

右跡式今朝大久保加賀守宅^ニ而
時ふく二
老中列座申渡之

當山二宿

長床坊使者

右御暇^ニ付被下之

十一日

評定所^ニ而 當座之御預

御松手

児島助左衛門

御小性組

同 傳兵衛

大御番

同 源八郎

遠山主殿頭組

同 村田源四郎

甲府衆

同 鳥居六右衛門

三右衛門養子

同 児島市之丞

同六男

同 川田善兵衛

大御番

同 岡部隠岐守組

西丸御小性組番頭
同 山本七郎兵衛

同 戸田半七郎

大澤傳左衛門

朝比奈内記

松平作左衛門

井上新五郎

酒井三右衛門

奥田八郎右衛門

松前八兵衛

小十人雨宮權左衛門組

表御右筆

佐原三右衛門

大河内十大夫

堀田筑前守

同 下総守

同 伊豆守

同 兵部

同 三男

同 二男

同 一男

同 時ふく二

同 時ふく二

同 時ふく二

同 時ふく二

同 時ふく二

同 時ふく二

同 時ふく二

同 時ふく二

同 時ふく二

同 時ふく二

同 時ふく二

同 時ふく二

同 時ふく二

同 時ふく二

同 時ふく二

同 時ふく二

同 時ふく二

同 時ふく二

同 時ふく二

同 時ふく二

右三人松平伊豫守^江 御預^ケ

右何^レも児島源藏書置之儀^ニ付御詮儀之内御預之旨高木

伊勢守岡町奉行御目付立合申渡之

上使水野兵衛守

尾 張 殿

紀 伊 殿

同 中将殿

水戸少将殿

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 三枝右近

同 弁之助

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

同 一學

大久保佐渡守

松平日向守

松平美作守

秋田淡路守

神保主膳

青山播磨守

小出弥左衛門

朝比奈藤兵衛

荒川出羽守

同 稲垣数馬

同 伏見奉行

同 奈良奉行

大岡勘右衛門

奥田八郎右衛門

松前八兵衛

山岡傳五郎

大坂御藏奉行

勝治郎右衛門

入御之節

御暇

京都正

三崎參府

大坂御藏奉行

御鷹雁 同 柴田七左衛門
松平刑部大輔

同 保科主税
松平播磨守
同 有馬宮内
松平伯耆守

右之通被遣之為御礼登城

時服二 傳奏被 御付候

松平加賀守^江以宿次御鷹之鶴被遣之

千種中納言左衛門
家所圖書

廿四日

増上寺 御佛殿^江

御名代

戸田山城守

廿五日

御鷹之雁

上使保科主税
宗 對馬守
同 岩瀬吉左衛門
織田山城守

右之通被下之

一於御鷹場戸田鉄炮打付^而宮崎藏部 百姓式人追懸候所賊式人

荒川^江飛入逃去其跡に残し置たる炮^并白鳥を取て鳥見頭^江訴之

依^而彼百姓式人^江銀二枚被下之

廿六日

如下刻雷動^ス

上使櫻井庄之介
松平薩摩守
同 佐久間宇右衛門
松平大和守
同 村越伊勢守
松平下総守

（金老枚
時ふく二
銀五枚ツッ
金武枚

右之通被遣之

松平新九郎知行

美女木村百姓

老人

宮城藏部知行

同所百姓

老人

銀馬代

右は戸田筋御鷹場^{ニ而}鉄炮打候ものを追懸候得は鉄炮其外

道具捨置逃候間相見不申候右之所御鳥見波多野一郎兵衛

松下忠兵衛^江差上候間御褒美銀式枚^{ツッ}被下之

廿七日

已后刻御黒書院^江出御於 御前

御懸之上意有之堀田兵衛守上之殿敷
大手前屋敷被下之

保科肥後守

銀馬代

同

右之通被 仰付候

御先手鉄炮頭
細井左次右衛門跡
同 榊原八兵衛跡

（金三十枚
時ふく廿
同十枚
同四枚
同五枚
同十枚
同五ツ

御目付^ム
平野九左衛門
大御寄組頭
向坂六郎五郎

堀田下総守

堀田伊豆守

堀田兵部

板倉頼母

堀田下總守家来
若林左衛門

堀田八兵衛

田中勘右衛門

植松求馬

庄田清右衛門

米津周防守

近藤隼人

斎藤頼母

大坂川渡奉行助
加藤兵助

猪子左大夫

堀 八郎右衛門

小林十右衛門

大坂御藏奉行
手代式人^江

平十郎子
中根長左衛門

信濃守子
山下勘右衛門

半七郎子
大森左大夫

可露子
桑山伊兵衛

一尾伊織

五郎八子
植村熊之助

同 次男
植村五平次

助右衛門子
米倉六郎右衛門

加兵衛子
志村孫九郎

太郎右衛門子
山田平三郎

五郎八郎子
柘植三之介

九郎兵衛子
秋田八郎九郎

彦大夫子
石川求馬

傳左衛門子
佐橋四郎左衛門

伊左衛門子
加藤平三郎
榊左衛門子
山下一學
三郎兵衛子
多賀藤三郎

桑山可齋

中根平十郎

植村五郎八

上使有馬宮内
松平中務大輔

同 大嶋四郎
立花飛驒守

同 藤懸采女
織田内記

堀田筑前守

板倉越中守

右之通差上之

御脇差 一文字 代金十三枚

廿八日

月次之御礼各出仕之處少々御風氣故 御目見無之

堀田伊豆守

堀田兵部

右は向後菊之間縁類^ニ可相詰之旨被 仰渡之

廿九日

上使保田美濃守
松平信濃守

同 村越伊達守
松平大藏大輔

同 村上三右衛門
森 伯耆守

同 柴田七左衛門
丹羽若狹守

同 大嶋雲四郎
松平肥前守

同 岩瀬吉左衛門
南部大膳大夫

同 藤懸采女
松平隱岐守

右之通被遣之

時服二

右御暇^ニ付被下之

御暇

京 本 禪 寺

甲府殿御簾中御舍弟大炊御門中将去頃卒去実は近衛左大臣次男也

晦日

御小姓組番頭
前田伊豆守

右は土屋相模守^江為引渡大坂可被遣之旨被仰渡之

御小姓江

小普請
伊東采女

頼之間江

同
松平藤兵衛
佐々木利介

右之通被 仰付候

柳宮日次記

貞享元^甲年

十一月御用番

阿部豊後守

秋元摂津守

本多淡路守

内藤出羽守

北條安房守

大岡備前守

大岡弥右衛門

加藤兵助

朔日

月次之御礼有之

熊泥障五懸

長崎^々

箱者

参府

無役名可礼

宮城監物

御代官

岡上次郎兵衛

御勘定与頭

竹村九郎左衛門

御勘定

土方伊賀領地

能州諸取之掃府

山中喜兵衛

御勘定

大坂川凌

桐之間御番

金丸又左衛門

藤掛内匠

右は小普請入被 仰付候

一板倉頼母向後鷹之間御目見被 仰出之

二日

寺社奉行

坂本内記

御留守^居

内藤出羽守

勘定頭

彦坂伯耆守

右は 寶樹院様三十三回忌^二付於上野来月二日御法事御執

行御用掛被 仰付候

御門番

火之番

那須遠江守

平野丹波守

右同断^二付被 仰付候

三日

今日千代姫様市ヶ谷御屋敷^江御徒移^二付従奥御祝儀被遣之

千代姫様^江

欠

銀式百枚

綿百把

時ふく三

中山茂兵衛

野村

みむろ^江

里の

銀五枚 ツツ

銀式百枚ツツ

男女惣中

於 御前老中^江御鷹之雁被下之

小十人組頭

依田吉左衛門

病

内藤三大夫

御右筆

左 杵浦半左衛門

右は何も病^二而願之通御役 御免

無贈物

元大御番組頭

岡部隠岐守組

當時小普請

杵浦内藏允組

青山鹿之助

欠

右今度小嶋源藏大岡伊左衛門喧嘩之儀^二付南部遠江守^江御預

御預

四日

式日寄合加賀守出座

保科肥後守拝領屋敷^江引移

宮城監物

欠

周易廣儀一部
青貝御書棚一
同板御屏風

右は長崎^々之土産献上之

五日

酒井河内守

堀田下総守

土屋相模守

御鷹之雁

右之通被下之

稲葉丹後守^江以宿次御鷹之雁被下之

上使戸田山城守

松平右衛門佐

右は到着^二付被遣之

未刻三丸へ 渡御

六日

御小姓

永井相模守

右御側近被 召仕候處御奉公仕様簾末いたし不屈被

思召^二付永井伊賀守^江御預^ケ知行惣領^二被下之旨於阿部豊

後守宅牧野備後守秋元摂津守申渡之

桂昌院様御召仕面々^江御加増被下之

百俵

五十俵

八十俵

百俵

百三十俵

同御付添番之面々十人御加増被下候也

七日

松平修理亮

右御詮議有之保科肥後守へ御預於評定所秋山修理亮申渡之

八日

上野^江 御名代

阿部豊後守

九日

御番医師
百俵御加増

日記役
大膳亮好庵
寄合医師
江藤了玄

日記役

同
外科
服部了伯

右之通被 仰付候

午刻三丸^江被為 成候今日

桂昌院様從三位御叙任有之^二付^而

御祝儀也

桂昌院様^江

銀百枚
綿百把

箱綴五巻^{ツツ}

同^二巻^{ツツ}

銀五十拾枚

羅紗二切^{ツツ}

右之通被下之

上野半左衛門

青木小左衛門

小西彦五郎

昆野七郎右衛門

木下清兵衛

筒井武右衛門

花形左丞

向坂庄兵衛

銀三十枚

同十五枚

同十枚

右御暇^二付被下之

相良遠江守へ御預

六郷佐渡守へ同

右御詮議 付御預之旨

十日

於評定所申渡之覚

松平修理亮

右は御役相勤様子をも乍存かろきものの方へ十方もなき

書狀遣之不屈之仕かた^二被^二 思召候依之領知被^二 召放保科

肥後守^江御預也

修理亮^子

松平源之助

同 小三郎

右兩人父不屈^二付松平日向守へ御預被^二 仰付候

十一日

欠

本多越前守

右領知^二盜賊有之捕置候処^二 彼者欠落致候^二付自分遠慮

欠

本庄次郎左衛門

右之通諸大夫被^二 仰付候

御小納戸

柳澤弥太郎

(金五枚
時ふく三
ツツ)

伏屋新介

右は御奉公精出相勤候^二付為御褒美被下之

十二日

式日評定所寄合山城守出座

摂州川渡奉行

加藤兵助

(金三枚
時ふく三
ツツ)

堀 八郎右衛門

猪子左大夫

金貳枚

右為御褒美被下之

欠

相模守息
永井權之助

右は知行息權之助へ被下候旨柴田和泉守へ被^二 仰渡之

十三日

已后刻御黒書院^江 出御

(銀三百枚
綿三百把
金馬代
同百把)

新御番

青山鹿之助伯父

松平右衛門佐

於^一 御前在府之侍從以上拾万石以上領地御書出^シ 御判

物被下之同壹万石以上之諸大名

御朱印頂戴之同詰衆

御朱印頂戴之

青山播磨守

右は二丸火之番被^二 仰付候

松平左京大夫出雲守細川越中守松平伊豫守宗對馬守織

田山城守次 松平土佐守佐竹右京大夫安藝守下總守大和守

上松平正大弼次^二立花飛騨守松平大藏大輔森伯耆守丹羽若

狭守南部大膳大夫松平隠岐守柳原虎之助酒井小五郎松平

越中守水野美作守戸田采女正巳上於關之内御直被仰含豊後

守取次渡之

一 十万石已下之面々豊後守申渡於御廊下關外^二而^二 同人取渡之

織田内記松平和泉守遠江守小笠原修理大夫水野隼人正本多

隠岐守相馬彈正少弼松平丹波守周防守伊東出雲秋田信濃水

谷左京亮溝口信濃小出備前龜井松之助井伊伯耆松平市

正大村因幡遠藤右衛門佐六郷佐渡毛利駿河堀左京亮伊

達宮内少輔小出伊勢池田信濃分部隼人正南部遠江大関信濃

市橋下總松平上野介土方市正青木甲斐松平大炊一柳土佐小

笠原備中本多出雲本多彈正肥後松平美作次^二松平日向土井

周防守上相模青山播磨土井内記永井日向朽木伊豫土井式部

少松平因幡備前那須遠江三浦老岐永井伊賀坂本内記板倉

式部^司無^無 同頼母伊豆守米津伊勢渡邊半次郎柳生對馬酒井右

京亮堀田兵部^司無^無 屋代越中守高木大学^司無^無 堀飛騨山口修理亮永井

万之丞安部摂津守遠山主殿頭北條伊勢

一 加賀守豊後守牧野備後守喜多見若狹守へ於奥被下之

十四日

今度御詮議之面々於評定所御仕置被^二 仰渡之

大夫同肥後守小笠原土佐松平對馬稲垣信濃加藤孫太郎堀
周防丹羽長門酒井石見内藤右近大夫岩城伊豫三宅土佐細
川豊前森對馬松平佐渡五嶋佐渡久留島信濃西郷若狹本
多伊豫太田原備前片桐主膳正堀長門前田右近大夫建部内
匠一柳右近將監小出大隅谷出羽佐久間安房織田信濃立花
主膳無司新庄主殿織田内匠無司溝口帶刀阿部對馬牧野駿河松
平伊豆石川主殿安藤對馬脇坂中務少水野右衛門大夫板倉
隠岐青山和泉松平伊賀増山兵部少阿部伊豫大久保安藝堀田
豊前板倉伊豫本多長門保科彈正忠松平縫殿酒井下野石
川若狹守内田出羽酒井勝之助小堀和泉守京極主膳正井上
筑後森川出羽伊丹大隅植村土佐守

廿二日
式日寄合加賀守出座

同組頭 大御番
青山席之助跡 岡部隠岐守組
同 河野弥右衛門
向坂六郎五郎跡 米津周防守組
同組頭 深津勘兵衛
依田吉左衛門跡 小十人 飯室市郎左衛門
同 小笠原金兵衛跡 小田切喜兵衛組
同 青柳新五右衛門
内藤三大夫跡 佐々木庄五郎組
宅間彦次郎

右之通被 仰付之

廿三日

松平修理亮上ヶ
屋敷被下之
堀田下總守
伊東市之丞
御小納戸 山本九兵衛
同 仁科源五右衛門
開門 有

右之通被 仰付之

重陽の御内書班賜之使臣正時服被下之

廿四日

増上寺江 御名代 阿部豊後守
戸田又兵衛小田切喜兵衛被 召之寺社奉行町奉行大目付
御勘定頭立合長崎御用可承之旨被 仰付之

廿五日

脇坂淡路守 五三右
右被為 召父中務少輔願之通隠居被 仰付家督無相違被
下之旨被仰渡之 御側御小姓三

右之通被 仰付之

右は御役 御免之旨
御願之面々御扶持方被下之 三百俵

松平修理亮
同 團之介
同 小三郎
伴 作平
同 孫次郎
同 平介
百五十俵宛

右之通被下之

廿六日

午刻御黒書院江 出御 御朱印改調御褒美被下之
御褒物

備前近景 代金十三枚
備前重光 代金同断
右終而 入御以後
（金三枚 時ふく二）
（同式枚 同）
（銀十枚 時ふく二）
右御判物 御朱印調之御褒賜也 厨書役名次

御座間

御目付へ

御徒頭 宮崎善兵衛
小十人頭 小田切喜兵衛
新御番頭 稲生五郎右衛門
御書院番 近藤五左衛門

御使番へ 斎藤左源太
御小姓組 小出伊織
御舟手 伴 作平跡江
御書院番 二九御留守居 秋山十兵衛
御書院番 細井惣左衛門
同 小島勘左衛門跡江

右之通被 仰付之

右病氣付御役 御免之旨

八代蜜柑

右之通以 上使被遣之

桂昌院様 千代姫様江蜜柑被遣之

御書院番 荒川出羽守組
頭出羽守江御預 金森帶刀
組頭稲垣敷馬へ御預 伊奈彦右衛門

右は駿府在番之内不屈之儀有之付也

宝樹院殿三十三回忌初夜勤行於東叡山勤之

廿七日

於上野 宝樹院様御法事三付而 御三人方甲府殿へ使者被差
上之

廿八日

月次之御礼有之

（時服三十 御馬） 御暇 松平肥前守
箱さかな 参府 内藤出雲守
（時服三 羽折） 御暇 佐貫在番 松平甲斐守
金式枚 フツ 同請取御暇 御使番 堀 小四郎
出雲守へ 御判物 尾張殿使者 御小姓組 依田源六郎
被下候御礼 鈴木源七

御代官
松平清三郎
柘植傳兵衛
平岡次郎右衛門
保井算哲
箱者 参上
領曆二卷 参上
一七曜曆土御門兵部少輔献上之
廿九日
醫師 如例年御菓種被下之
時服式 府中婦御奏美
御法事結願
門奈助右衛門
諏訪部文右衛門

柳宮日次記
貞享元^{甲子}年
十二月御用番

戸田山城守 堀田對馬守 坂本内記
松浦内藏允 甲斐庄飛騨守 中山隱岐守
能勢惣十郎 大澤左兵衛

朔日
月次之御礼^并有之

田中城引 渡掃^り
同 舞々
鳥目代 参上
願子
奥田八郎右衛門
松前八兵衛
幸若小八郎
同 五郎左衛門
同 三右衛門

右 御目見
佐左衛門子
石川彦四郎
右は御切米式百俵被下大御番へ御番入被 仰付之
保井算哲

右は御切米式百俵被下天文職被 仰付之
今朝御家門方々寒入^ニ付為何御機嫌御法事^ニ付御精進物献上之

宝樹院殿御年忌御赦三奉行^上申渡之

二日

寶樹院様御法事相済為 御名代大久保加賀守参詣^并御布施被遣之

日光御門跡^江
凌雲院
圓覚院
傳法院
勸善院
衆僧中^江
讀經衆僧中^江
樂人七人^江
田村權右衛門
銀三百枚
鳥目三文貢^寺
銀三枚ッ
同十枚
銀貳拾枚
（銀三百枚 時ふく十）

右之通被下之
一御三家初御香奠献上有之

三日
於 御座之間安鎮法 知足院執行依之銀百枚被下之
松平隼人正
右は去頃被 仰付書物持 言上之
上使小笠原佐渡守
同 仙石右近
紀伊殿
尾張中将殿

右は明日於二丸御能被 仰付候^ニ付御見物之儀被 仰遣之
御譜代大名^并詰衆去年御能見物無之面々^江二丸へ五時過^ル罷出候^而見物に仕旨被 仰渡之
伊東市之丞上ヶ
屋敷被下之
時服三
石川佐左衛門
尾張殿使者
鈴木修理

右は御暇^ニ付被下之
未刻三丸へ 渡御

四日
辰刻二丸へ 渡御御能昨日被 仰出候衆見物被 仰付之
三家初
御能始 堀田對馬守
源大夫 七大夫 彦太郎 三太郎 左吉
清六 市右衛門
生田敦盛 觀世 六郎次郎 新右衛門 安兵衛
杜若 將監 權七 新九郎 又次郎 八郎右衛門
望月 七大夫 彦太郎 市郎兵衛 左吉
清六 庄兵衛
金札 金剛 六郎次郎 新右衛門 安兵衛
かき山伏 長大夫
川上座頭 仁右衛門
御小納戸
若藤吉右衛門
小嶋武左衛門
小嶋武左衛門
小嶋武左衛門

五日
式日評定所寄合豊後守出座昨日延引^ニ付今日也
昨日御能拜見之衆御三家始為御礼登 城老中謁之

御歩行頭
宮崎喜兵衛跡
小十人頭
小田切喜兵衛跡
御小姓組
小幡三郎左衛門
北條新左衛門

右之通被 仰付之

一 大久保加賀守御年男被 仰付之

十一日

御代官被 仰付候松平
修理亮上ヶ屋敷被下之

右之通被 仰付之

一 紀伊殿今朝鷹場へ發足

二種一荷

右は大坂江到着ニ付以使者差上之

一 保科肥後守宅へ老中招請 屋敷拝領之
御札能有之

十二日

武万石

右被為 召美作守跡式無相違被下之

時ふく五ツ

寺社奉行町奉行御勘定奉行

坂本内記

本多淡路守

高木伊勢守

秋山修理亮

甲斐庄飛驒守

北條安房守

彦坂伯耆守

大関備前守

中山隱岐守

同 四ツ

右之通御褒美被下之

(金五枚

時ふく三

右は去頃御書物之御用相勤調進ニ付被下之

小普請奉行

梶 四郎兵衛

(時ふく二ツ

羽折

御代官

川副金左衛門

遠藤新兵衛

守屋助次郎

同

上使牧野伊豫守

紀伊殿

右は鷹場江之上使被遣之

右為御札中將殿御登 城

歴二

右は鷹場が被差上之

御奉行公判人付
五百石御加増被下之

式日評定所加賀守出座

駿府在番
掃り

御書院番頭

荒川出羽守

稲垣数馬

井組中共

右遠慮被 仰付之

十三日

如例年御煤拂有之大久保加賀守勤之御煤拂御祈禱知足院

被 仰付之時ふく四被下之

已刻二丸江被為 成候

一 紀殿鷹場へ上使牧野伊豫守掃參

二 大久保平兵衛被 仰付之

一

十四日

御奥御小姓 正

中奥

永井十郎左衛門

山本平九郎

新九郎三男

松平采女

右之通被 仰付候

一日門より二種一荷被献之是御座間御普請出来ニ依江也

一 水殿鷹場へ御暇 上使堀田對馬守

一 御小納戸松野六郎兵衛御免小普請入

十五日

月次之御札有之於御黒書院

金五枚

御加増之御札

同 武枚

同

佐貫ノ婦府

駿府御目付

掃り

清水ノ

参府

掃者

同

内藤伊賀守

大久保佐渡守

松平甲斐守

永見甲斐守

渡邊孫助

中嶋与五郎

戸田阿波守

甲府城代

(御札

小刀五本

御加増之御札

奥州御馬買

掃り

遠州

二 諦 坊

小菅猪右衛門

中山勘右衛門

諏訪部喜右衛門

内藤半右衛門

右は御詰衆惣領並ニ席可有由被

仰付之

青山信濃守組

大岡忠四郎

御小姓組前田伊賀守跡

米倉六郎右衛門

伊奈半十郎

同

大御番遠山主殿組

本多弥五左衛門

右之通見分被 仰付之

(下總

塩濱領

十六日

一 碁將某被 仰付之

八日勝

春日

八 碩

知 哲

門 入

因 碩

宗 桂

宗 興

上使三枝右近

水 戸 殿 江

御小姓組番頭豊前守子

大久保彦兵衛

同 人 次 男

同 彦 五 郎

御歩行頭三郎右衛門弟養子

甲斐庄四郎左衛門

石河甚右衛門

小普請五郎兵衛子

長兵衛子

佐久間小左衛門

三枝長四郎

三郎左衛門子

長谷川三十郎

半右衛門子

土方兵四郎

一

右は鷹場へ 上使被遣之

紀伊殿從鷹場鷹二以使者被差上之

今日跡目被 仰付候面々

五千石之内

六千石之内

千石

分知

美濃郡代

御歩行頭三郎右衛門弟養子

中奥三右衛門子

同 人 次 男

大久保彦兵衛

同 彦 五 郎

御小姓組番頭豊前守子

甲斐庄四郎左衛門

石河甚右衛門

小普請五郎兵衛子

長兵衛子

佐久間小左衛門

三枝長四郎

三郎左衛門子

長谷川三十郎

半右衛門子

土方兵四郎

十左衛門子
伊奈甚太郎
甚五兵衛子
正木甚之助
甚五兵衛子
水野介左衛門
市郎左衛門子
三輪半七郎
三右衛門美子
天野三次郎
伊左衛門子
伴 藤右衛門
小十郎子
織田松之助
友之助子
鈴木主水
勘兵衛子
川勝市郎左衛門
一學子
美濃部藤三郎
平助美子
小林巳之助
三之丞弟美子
葦科八兵衛
五右衛門美子
都筑治右衛門
半七郎嫡孫
駒井儀兵衛
權兵衛子
浦野喜左衛門
仁右衛門子
栗原平四郎
七左衛門子
永田弥兵衛
五左衛門子
井出源左衛門
藤兵衛子
山本八郎兵衛
七右衛門子
川村彦七郎
大岡忠兵衛美子
近藤与兵衛
孫八郎子
松下右衛門太郎
庄吉子
小栗弥次右衛門
石井五左衛門
平四郎子
秋山權次郎
四郎右衛門子
岸 又八郎
善右衛門子
藤井与一郎
安藝子
山井左衛門
介九郎子
畔柳介七郎
利兵衛子
黒川新七郎
七郎右衛門子
谷村又左衛門
源右衛門子
後藤縫殿介
庄兵衛子
木屋庄十郎
是迄廊之間
是迄廊之間
是迄廊之間
席

右之通戸田山城守申渡之

十七日

辰下刻紅葉山^江 御社参

御先立

保科肥後守

御刀

荒川長門守

御香

柳澤弥太郎

御供

堀田對馬守

尾紀両中将水少将陪拜

豫参 加賀守豊後守秋元撰津守

御留守居

柴田和泉守

右は母服致失念今日 御社参之節罷出 御目見仕候段不

届被 思召御役被 召上閉門被 仰付候依之和泉守同役

大目付衆不心付 御目見為仕候段不調法 思召候段 上

意之由被 仰付候

一両山御佛殿へ京葉御進獻

一日門御對顔青磁御香炉御伽羅一木被遣之

一日光山昨十六日夜亥刻中鉢石町出火九十二軒焼失注進之

十八日

歳暮之時服御家門方諸大名へ献上之凡六百拾

隠居家督被 仰付候面々

菊之間

御男方

西川清左衛門

小普請

同 平右衛門

鎮目市左衛門

同 長四郎

神尾小左衛門

同 善次郎

近藤市左衛門

同 久次郎

美濃部庄右衛門

同 庄次郎

田村安清

同 長伯

躑躅之間

小普請

蜂屋長左衛門

同 兵右衛門

吉田太右衛門

同 新五右衛門

小出勘左衛門

同 庄兵衛

千種忠兵衛

同 忠右衛門

吉田佐五右衛門

同 半左衛門

川井新右衛門

同 武大夫

立岩平左衛門

同 市平

中川加兵衛

同 勘右衛門

熊谷武兵衛

同 宇右衛門

曾雄平大夫

同 清右衛門

田嶋宗與

同 養運

右之通被 仰付之

一 小普請へ大御番 御番入被

仰付候面々

柳原源五左衛門

本目十右衛門

坂部助五郎

丸毛五郎兵衛

森川次郎左衛門

伊藤三右衛門

山口半右衛門
中根兵右衛門
佐々木市郎左衛門
南条小十郎

村上宇右衛門

窪田助左衛門

森川久右衛門

木村源右衛門

小林三郎次郎

鎮目彦八郎

三輪八十郎

岡部八郎右衛門

右之通御番入被 仰付之

(鷹場へ上使被遣候

御礼被差上之

拝領之鷹捉之

高式被差上之

右為御礼水戸殿御登 城

去十七日亥刻日光出火鉢石町三町程焼失之由

十九日

御黒書院 出御御礼被為 受候

(金廿枚

時ふく廿

同十枚

同五ツ

總百把

(金馬代

脇坂淡路守

石川吉十郎

本多下野守

松平伊豆守

安藤對馬守

大久保安藝守

堀田豊前守

増山兵部少輔

阿部伊豫守

西郷若狭守

酒井下野守

内田出羽守

井上筑後守

伊丹大隅守

(根矢式百筋

金馬代

(時ふく五

銀馬代

同

箱者

同

銀馬代

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

大坂

堀府

御目見

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

水野右衛門大夫

松平彦四郎

織田藤三郎

蒨田式部

松平主水

福原内匠

荻野監物

太田原頼母

福原監物

同 猪吉

榊原越中守

中山勘解由

前田伊賀守

堀 小四郎

依田源六郎

脇坂中務少輔

尾張紀伊両中将水少将陪拝

豫参 加賀守豊後守牧野備後守堀田對馬守

御番醫師被

仰付之

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

喜多村安斎

北条新左衛門

細井惣左衛門

内藤甚助

坂部八郎右衛門

市川瀬兵衛

深澤弥兵衛

榊原弥兵衛

久松勘左衛門

根来平大夫

青沼市郎左衛門

飯室三郎兵衛

宅間彦次郎

青柳新五右衛門

右之通御加増被下之

此外去ル八月十八日御番入分新御番三十人御足高被下式百

五俵ニ成御納戸衆八人御足高被下式百俵ニ成小十人組七

人百俵ニ御足米百俵被下之

小十人

長田五郎左衛門

山中惣左衛門

雨野与惣兵衛

石渡四郎兵衛

澤 勘左衛門

瀧 傳兵衛

沢 源三郎

御納戸組頭 御番衆御奉公精出相勤候ニ付御納戸ニ有之

物之内被下旨堀田對馬守申渡之

廿二日

式日寄合豊後守出座

御座之間

鷹場降り

右 御對顔

紀 伊 殿

一

去^ル廿日辰刻日光蓮華寺西町より出火御本坊御供所大谷町鉢石町不残焼失乍然 御宮 御佛殿無恙由注進依之宮城主殿為御使被遣之

依之日門^江 上使吉良上野介

向後英方御祝儀御規式可相勘旨被 仰付之

杉浦内藏允
渡辺傳四郎

右は常々御奉公勤不宮不屈^ニ被 思召候御役被 召上閉門被 仰付候旨堀田對馬守於宅申渡之

廿三日

上使吉良上野介
廿二日之事也 可削
日光御門跡^江

右は日光山火事為御見廻被遣之

日光御門跡^江

右歳暮之為御祝儀被差上之

廿四日

紅葉山^江 御參詣

御先立
牧野備後守

御刀
荒川長門守

御香
伏屋新助

御供
秋元摂津守

両中将水少陪拝

豫參 加賀守豊後守秋元摂津守

一

於上野 殿有院様 御宝塔唐金^{ニ而} 被 仰付候奉行佐久間

宇右衛門藤掛采女被 仰付之

上使大澤右京大夫
日光御門跡

右は御登山 付被遣之

戸田山城守^江 来年東叡山御宝塔以唐銅可仰付之旨可奉行被仰含之使者佐久間宇右衛門藤懸采女下奉行被仰付之

廿五日

官位被 仰付候面々

左京大夫子

對馬子

佐竹次郎

修理大夫と改

宗 右京

内藤左京亮

酒井靱負佐

遠江守と改

四品

諸大夫

龜井松之助
能登守改

酒井与七郎
能登守改

内藤藤丸
能登守改

津輕平藏
能登守改

稲葉市正
出羽守改

黒田平八郎
能登守

松前兵庫
伊勢守改

三枝右近
志摩守改

藤堂主馬
能登守

仙石右近
伊豫守

岡部角左衛門
大和守

山田奉行
駿河守

右之通被 仰付之

右は御奏者番 御免

松平相模守

右は 御判物頂戴之右為御礼荒尾志摩差上之則御暇時服

式被下之

久世出雲守

九鬼大隅守

伊東信濃守

品川采女

内田右京

右五人松平修理亮儀^ニ付遠慮之所昨日 御免

小普請奉行

梶四郎兵衛

徳永十左衛門

右之通被 仰付之

廿六日

於 御前

御留守居

柴田和泉守跡

御書院組頭

稲葉庄右衛門跡

御書院番頭

酒井老岐守

本多三左衛門

中興

大酒役

沼間新五郎

上田弥右衛門

久貝忠左衛門

内藤采女

時服三

ツツ

羅紗一反

盜賊改

岡野平兵衛

舟越左門

松平半左衛門

横田甚右衛門

溝口修理

太田式部

岡部数馬

御馬方

總方御納戸頭

飯高七左衛門

瀬名十右衛門

諏訪部文九郎

中山勘解由

与力拾人^江

同心五拾人^江

同心^江

拾人^江

御膳奉行

鵜殿甚左衛門

山本金左衛門

安藤五郎兵衛

榊原左平太

蜷川彦左衛門

秋浦源右衛門

大河内十大夫

吉田長佐^江

岡野平兵衛

山岡十兵衛

森川下總守組入番頭

佐橋内蔵介

油川五郎大夫

大御番

星合七兵衛

右之通御褒美被下之

盜賊改御免

右跡^江

道奉行^江

小普請奉行

右之通被 仰付之

時ふく二
尾張殿使者
長岡庄右衛門
松平加賀守使者
奥村老岐守
同 四
遠州
同 二
愛宕
同 一
八幡
同 二
八幡
同
古筆見
了 周
了 珉
銀五枚 ツ
三島醫師
川井龍節
同 三枚
右御暇ニ付被下之
雪ニ付三家使者差出之

廿七日
已刻御黒書院^江 出御今度御番改勤之面々 御目見御褒美被下

御小姓組
式百五拾三人
御書院番
式百七人
新御番
七拾九人
大御番
式百拾三人
兩御納戸
式拾五人
御腰物方
拾九人
小十人組
五十九人
右之通皆勤金五枚上勤上金三枚上勤金式枚被下但小十人^江は皆勤三十両上々金式拾両上勤拾両被下之
都合八百六拾老人

大坂御目付
代り
村上三右衛門
戸川平右衛門
保科主税
筑紫左大夫
高田御目付

右之通被 仰付之
碁打将碁差如例年御暇拝領物有之候

廿八日

月次之御札有之

雁二

鷹場掃り

水戸殿

右被献之

箱者
時ふく五
羽折
雨鞍覆五懸
銀馬代
同
同
御加増之御札
同
同
遠州見物
帰り

御札
巻数
歳暮
同

扇子ツツ

一
布衣被 仰付候面々

松平老岐守

本多能登守

井上志摩守

服部久右衛門

駒井半右衛門

梶 四郎兵衛

馬場新右衛門

設楽長兵衛

昌 陸

昌 純

昌 億

紹 周

山王別當

同 神主

尾張殿使者
林 半之丞

同
熊澤与惣兵衛

同
池田源兵衛

御代官
長谷川六兵衛

火消
松平半左衛門

火消役
舟越左門

目付
稻生五郎左衛門

御使番
齋藤左源太

御使番
近藤五左衛門

御先手御旗頭
向坂六郎五郎

書院組頭
本多三左衛門

徒頭
小幡三郎左衛門

徒頭
杵原四郎左衛門

小十人頭
雨宮權左衛門

小十人頭
北條新左衛門

御舟手
秋山十兵衛

御舟手
細井惣左衛門

井上半十郎

時ふく五ツ

同 四ツ

同 三ツ

右之通被下之

一知足院事来年始於御白書院御札可仕之旨寺社奉行へ申渡之^{能登守改}

廿九日

日光坊中へ火事ニ付八木被下之

時服二ツツ

尾張殿使者
林 半之丞
同
熊澤与惣兵衛
同
池田源兵衛

右御暇ニ付被下之

銀五拾枚
時ふく三
羽折

御使番

銀三十枚
時ふく三
ツツ

同 廿枚
同 二

右は沼田檢使被 仰付御役相仕舞候ニ付被下之

晦日

歳暮之為御祝儀御家門方御登

小普請奉行へ

右之通被 仰付候

大久保加賀守

阿部豊後守

戸田山城守

牧野備後守

堀田對馬守

秋元摂津守

内藤伊賀守

大久保佐渡守

朽木伊豫守

稲垣安藝守

金田遠江守

柳生對馬守

酒井老岐守

城有之

新御番
大久保四郎兵衛

跡目被_レ仰付候

八百石之内

五百石

三百石

山角市左衛門跡

惣領

御納戸

二男

新御番

藤五郎

秋田信濃守父代迄御番代列之所申絶達

上聞向後有馬左

衛門佐水谷左京亮列_ニ御礼可罷出之旨山城守達